

営農ウィークリーNEWS

台風に備える農作物等の技術対策

台風シーズンとなりました！暴風・大雨の対策を行いましょう！

野菜

- 1 ほ場内の早期排水対策として、あらかじめ溝切り、畦立て等の管理作業に努めること。
- 2 風害・潮風害のおそれのある場合には、べたかけ資材の利用等により被害回避に努めること。
- 3 支柱やネットを設置している作物は、確実に固定されているか確認し、必要に応じて補強しておくこと。
- 4 は種や定植を予定している場合は、台風の通過前の作業を避け、通過後に行うこと。

水稲

- 1 冠水又は浸水後の排水対策が速やかに行われるよう、溝切り等の対策を講じるほか、明きよ等を点検・補修等を行っておくこと。
- 2 収穫後に自宅倉庫等で保管されている米については。浸水等による被害が発生しないよう適切な場所で保管すること。

(9月1日農林水産省「台風9号の接近に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について」より抜粋)

パイプハウス

表 パイプ径の違いによる耐風速の違い

アーチパイプ 普通鋼管 (215N/mm ²)	φ22.2×1.2	φ25.4×1.2	φ31.8×1.6
最大瞬間風速	22 m/s	27 m/s	35 m/s

※間口6.0m、アーチパイプピッチ50cmでの耐風速値

H25.2鳥取県農業気象協議会(鳥取県農林水産部総合研究所編)、SRG7カミヤ資料①

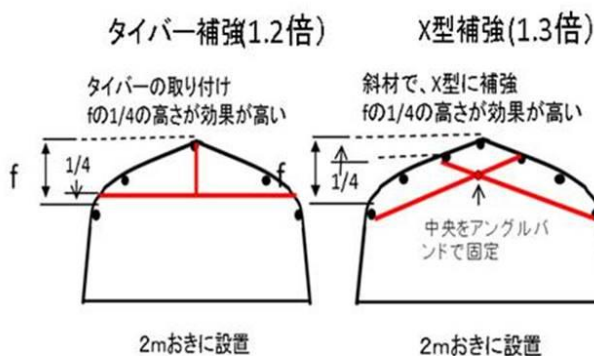


図 タイバー、X型補強

ハウスのパイプ径により耐風速が異なるため、所有するパイプハウスの耐風速や今後の補強の目安にしてください。

(京都乙訓農業改良普及センター資料より)

—TAC information—

トビロウソウカ被害に気を付けて下さい!



増殖能力が非常に高い短翅型

みなさんの水稲圃場は大丈夫でしょうか？今年も、トビロウソウカによる被害が多発しています。今後収穫期を迎える中晩生品種(ヒノヒカリ、にこまる、京の輝き、祝、新羽二重糯)では、発生に注意して下さい。左の写真の「短翅型」とよばれる、翅の短いタイプは増殖能力が非常に高く、特に危険です。株元を注意して観察して下さい。風通しが悪い、肥料がよく効いている圃場は特に注意が必要です。防除の目安は、1株に成幼虫が5頭以上です。薬剤散布による防除は、収穫前使用日数や使用回数など注意が必要ですので、JAまでご相談ください。





みのり姫の ふれあい マルシェ

★ JA京都中央管内の新鮮な農産物を販売します ★

エコバック
♥プレゼント♥
先着**150**名様
(ご購入者様限定)

[日時] ▶▶ 9月10日(木)
10:30 ~ 14:00
※売切れ次第終了となります

[会場] ▶▶ JA京都中央神足支店
(長岡京市開田4-14-8)

ご利用可能です



※ ふれあいマルシェ以外に
当JAの支店・経済センター
ではご利用いただけません

● 前回開催時の様子



本件に関するお問い合わせは下記まで

お問い合わせ

TEL 075-955-8575 (事務局 本店経済部)

MAL keizai@kyo-ja.com

● 主催:JA京都中央 ● 共催:JA京都中央 営農者会



公式ホームページ



公式LINE